BUFFALO

FireWire800（IEEE1394b）/FireWire400（IEEE1394）/
USB/eSATA ハードディスク

HD-MIBSU2 シリーズ

ユーザーズマニュアル

フォーマット（初期化）について

フォーマットの手順は、画面で見るマニュアル「フォーマット / メンテナンスガイド」をご覧ください。本書では、フォーマットの手順を記載しておりません。

Q&A　インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
C: ハードディスク
D:CD-ROM ドライブ

・文中［ ］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

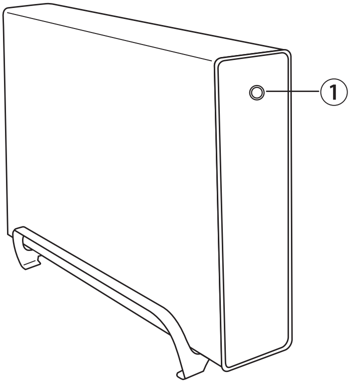
1

はじめに

はじめに確認して頂きたいことを記載しています。

各部の名称

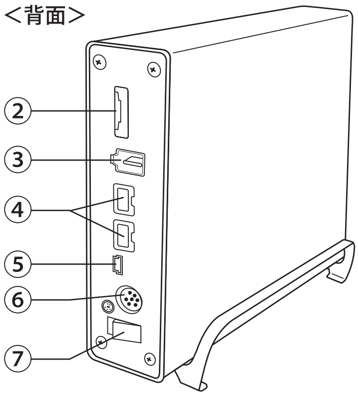
＜前面＞



①電源ランプ

※本製品にアクセスしているときは、明るくなります。（アクセスの状態によっては、点滅しているように見えます。）

＜背面＞



② eSATA ポート

eSATA 接続で取り付けるときに、eSATA ケーブルを接続します。

③ FireWire400（IEEE1394) ポート 6pin

FireWire400(IEEE1394) 接続で取り付けるときに FireWire400(IEEE1394) ケーブルを接続します。

④ FireWire800(IEEE1394b) ポート 9pin

FireWire800(IEEE1394b) 接続で取り付けるときに FireWire800(IEEE1394b) ケーブルを接続します。ポートは２つありますが、どちらのポートに接続してもかまいません。

⑤ USB ポート (Mini -B)

USB 接続で取り付けるときに、USB ケーブルを接続します。

⑥電源コネクタ

AC アダプタを接続します。

⑦電源スイッチ

本製品の電源を ON/OFF 切り替えます。

セットアップ

本製品のセットアップ方法は、別紙「はじめにお読みください」をご覧ください。

⚠注意 本製品に OS をインストールして使用される方へ

本製品を以下の接続方法でパソコンと接続してから OS をインストールしてください。
別紙「はじめにお読みください」のセットアップ手順は必要ありません。

・**Mac OS をインストールされる場合**
FireWire800（IEEE1394b）または FireWire400（IEEE1394）で接続してください。

・**Windows をインストールされる場合**
eSATA 接続でパソコンに接続してください（次ページも参照してください）。

本製品に Windows をインストールする方へ（eSATA 接続のみ）

eSATA 接続をした場合、Windows をインストールし、本製品を起動用ハードディスクとして使用することもできます。Windows をインストールする場合は、以下の手順で行ってください。

⚠注意
- **eSATA で接続していない場合や Macintoch をお使いの場合は､Windows をインストールできません。**
- **弊社製 IFC-PCI7ESAU2 をお使いの場合、本製品から OS を起動することができません。本製品は、増設用ハードディスクとしてお使いください（IFC-PCI7ESAU2 のブートスイッチは OFF にしてください）。**
- **Windows XP/2000 をインストールする場合は、以下の手順の後に必ず次ページの「137GB 以上認識されない方へ（Windows XP/2000 のみ）」の手順を行ってください。行わないと、データが破損・消滅する恐れがあります。**

メモ Windows をインストールした後、ハードディスク内に未使用領域がある場合は、パーティションを作成し、フォーマットしてください。【画面で見るマニュアル「フォーマット / メンテナンスガイド」】

パソコンに付属の CD-ROM から Windows をインストールする場合

eSATA ケーブルをパソコンに接続し、本製品の電源スイッチを ON にしてからパソコンのマニュアルを参照して OS をインストールしてください。

⚠注意 **お使いのパソコンによっては、仕様により Windows をインストールできないことがあります。パソコンメーカにご確認ください。**

Windows の CD-ROM からインストールする場合

本製品をパソコンに接続してから電源スイッチを ON をにし、Windows をインストールします。Windows の起動ディスクからパソコンを起動し、画面に表示されるメッセージに従って操作してください。インストール手順は Windows のマニュアルを参照してください。Windows を新規にインストールする場合の一般的な手順は、次のとおりです 。

eSATA ケーブルで本製品をパソコンに接続する

▼

本製品の電源スイッチを ON にする

▼

Windows の起動ディスクからパソコンを起動する

▼

Windows をインストールする【各 OS のマニュアルを参照】

▼

パソコンを再起動する

137GB 以上認識されない方へ（Windows XP/2000 のみ）

137GB 以上の認識しない場合は、以下の手順を行ってください。

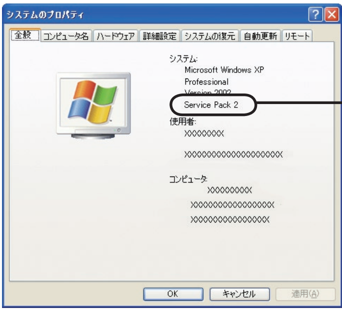
※ 以下の手順を行わないと、データが破損・消滅する恐れがあります。必ず以下の手順を行ってください。 ※ OS を新規にインストールする場合は、OS のインストール後に以下の手順を行ってください。

■サービスパックの確認をする

1 **周辺機器→パソコンの順に電源スイッチを ON にします。**

2 **[スタート] メニュー内（Windows 2000 の場合はデスクトップ）の [マイコンピュータ] を右クリックし、[プロパティ] をクリックをします。**

3



Windows XP の場合は「Service Pack 2」以上、Windows 2000 の場合は「Service Pack 3」以上が表示されていることを確認してください。

表示されていない場合は、Windows Update(http://windowsupdate.microsoft.com/) からインストールしてください。

Windows XP の場合は、以上で完了です。Windows 2000 をお使いの場合は、以下の「ユーティリティを実行する（Windows 2000 のみ）」に進んでください。

■ユーティリティを実行する（Windows 2000 のみ）

1 **パソコンの CD-ROM ドライブに付属 CD をセットします。**
ドライブナビゲータが起動しないときは、［マイ コンピュータ］内の CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

2 **「かんたんスタート」→「ソフトウェアの個別インストール」**

3 **「137GB 以上認識されない方へ」を選択し、[インストール開始] をクリックします。**

インストールが始まります。インストールが完了したら、パソコンを再起動してください。

2 使いかた

使用時の注意や本製品の取り外しかたを説明します。

使用上の注意

⚠注意
- **本製品に仮想メモリを割り当てないでください（本製品に OS をインストールした場合を除く）。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。**
- **本製品にアクセスしているときは、絶対に接続ケーブル、電源ケーブルを抜いたり、パソコンの電源スイッチを OFF にしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。**
- **パソコン本体の省電力モード（スタンバイ、休止状態、スリープなど）は無効にしてください。データが破損したり、省電力モードから復帰できないことがあります。**

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● Mac OS X 10.3 以前をご使用の方は、本製品を使用する前に必ずフォーマット（初期化）してください。【画面で見るマニュアル「フォーマット / メンテナンスガイド」】

● 本製品はホットプラグに対応しています（eSATA 接続の場合は、弊社製 eSATA インターフェースに接続した場合のみ）。
本製品やパソコンの電源スイッチが ON のときでも接続ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P10「本製品の取り外しかた」】

⚠注意 **本製品にアクセスしているとき（電源ランプが、明るくなります。アクセスの状態によっては、点滅しているように見えます。）は、絶対に接続ケーブルを抜かないでください。本製品に記録されたデータが破損する恐れがあります。**

●本製品に Mac OS をインストールする場合は、FireWire800（IEEE1394b）または FireWire400（IEEE1394）で接続してください。

●本製品に Windows をインストールする場合は、eSATA で接続してください。USB 接続や FireWire400（IEEE1394）接続した場合は、本製品から Windows を起動できません。

● 動作中に本製品を移動させたり、設置方向を変えないでください。本製品の破損の原因となります。

● 本製品に物を立てかけないでください。
転倒して故障する恐れがあります。

● Windows XP 搭載のパソコンで使用する場合
USB 接続する場合は、USB2.0 ポートに接続してください（USB1.1 接続は推奨しておりません）。USB1.1 準拠の USB ポートに接続すると、「高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。（以下略）」と表示されます。

● FAT32 形式のハードディスクに保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。
本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため、1 ファイルの最大容量が 4GB となります。Windows の場合は NTFS 形式、Mac OS の場合は MacOS 拡張形式で本製品をフォーマット（初期化）すれば 1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できるようになります。

次のページへ続く

本製品の発熱について

本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しております。筐体表面が熱くなりますが、異常ではありません。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。

・本製品を横置きにしたり、積み重ねて使用しないでください。
・本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。
・本製品に布などをかぶせないでください。

● **Macintosh でリカバリするときは、本製品を取り外してください。**
取り外さないとリカバリできないことがあります。

● **本製品の動作時 、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが 、異常ではありません 。**

● **接続方法を変更する場合（例：eSATA 接続から USB 接続に変更する場合）は、本製品の電源を OFF にしてから行ってください 。**

● **以下の弊社製 IEEE1394（FireWire400）インターフェースに本製品を接続すると、転送速度が著しく低下する場合があります。その場合は、USB や eSATA で接続してください。**
IFC-ILP4、IFC-ILP4/DV、IFC-PCI7IU2、IFC-PCI6GLIU2、IFC-CB2IU2V シリーズ

● **複数の USB 機器と併用したいときは、弊社製 USB ハブ（別売）などを使用してください。**

FireWire400（IEEE1394）接続時の書き込みに時間がかかる場合は？（Windows のみ）

FireWire400（IEEE1394）接続した場合、お使いの環境によっては書き込みに時間がかかることがあります（4GB のファイルをコピーするのに 10 分以上かかることがあります）。この場合、Windows の書き込みキャッシュが無効になっていることがありますので、以下の手順を行ってください。Windows の書き込みキャッシュを有効にし、書き込み時の処理能力を向上させます。

⚠注意 以下の手順を行うと、データの一部を書き込みキャッシュに保存し、処理速度を向上させます。そのため、本製品使用時に障害が発生した場合、書き込みキャッシュに保存されていたデータが破損・消失することがあります。本製品を取り外すときは、必ず P10「本製品の取り外しかた」の手順で行ってください。手順を守らないと、データが破損、消失する恐れがあります。また、停電の場合や機器の障害時なども、データが破損・消失する恐れがあります。本製品に保存したデータは、定期的にパソコンなどへバックアップすることをお勧めいたします。

1 以下の方法でデバイスマネージャを表示します。

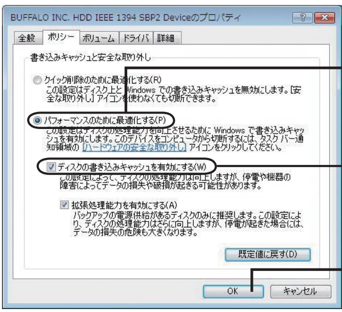
Windows Vista .... ［スタート］をクリック→［コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら［続行］をクリック→［デバイスマネージャ］をクリック

Windows XP .... ［スタート］をクリック→［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

Windows 2000 ....デスクトップの [マイコンピュータ] を右クリック→ [管理] をクリック→ [デバイスマネージャ] をクリック

2 「ディスクドライブ」の「BUFFALO INC. HDD IEEE 1394 SBP2 Device」を右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

3



① 「パフォーマンスために最適化する」にチェックします。

② 「ディスクの書き込みキャッシュを有効にする」をチェックします（Windows Vista のみ）。

③ [OK] をクリックします。

※ 手順②は、Windows Vista のみ選択できます。Windows XP/2000 では手順②を行う必要ありません（表示されません）。

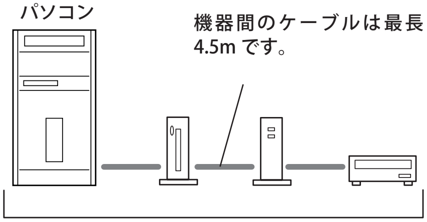
以上で完了です。

FireWire800（IEEE1394b）機器や FireWire400（IEEE1394）機器の増設

次の図のように接続してください。

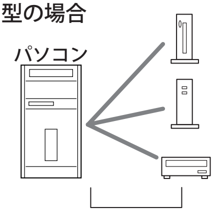
⚠注意
- **本製品の電源を切ると、本製品以降に接続されている機器が使用できなくります。**
- **本製品を USB ケーブルや eSATA ケーブルで接続した場合、FireWire800（IEEE1394b）機器や FireWire400（IEEE1394）機器を本製品に接続することはできません。**
- **本製品を FireWire400（IEEE1394）機器として使用される場合は、終端に接続してください。本製品から他の機器に接続することはできません。**

● デイジーチェーンの場合



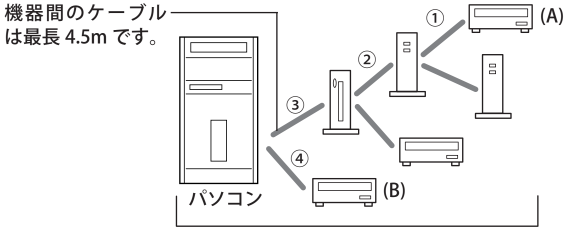
最大 17 台（パソコンを含む）最長 72m

● スター型の場合



ケーブルは最長 4.5m です。

● ツリー型の場合

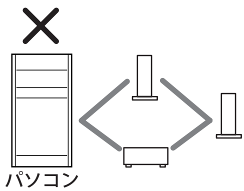


最大 63 台（パソコンを含む）

※ 終端から終端の機器の間に使用できるケーブル数は最大 16 本（16 ホップ）です。
左図の例での終端は (A) と (B) となり、その間のケーブル数は ①～④の 4 本（4 ホップ）となります。

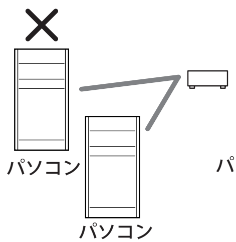
⚠注意 **次のような接続はできません。**

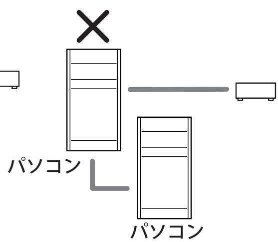
（リング型）



（スター型）

1 台の機器を複数のパソコンに接続して使用することはできません。





━━ : FireWire800（IEEE1394b）ケーブル、FireWire400（IEEE1394）ケーブル

本製品の取り外しかた

以下の手順で取り外してください。

メモ パソコンの電源スイッチが OFF の時は、そのまま取り外せます。

Macintosh

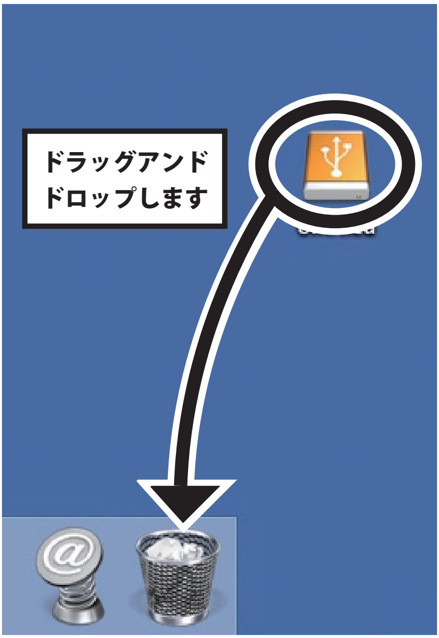
Macintosh の場合は、以下の手順で本製品を取り外してください。

本製品を起動用ハードディスクとしてお使いの場合（Mac OS をインストールした場合）は、本製品を取り外さないでください。

⚠注意 必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。

1 本製品のアクセスランプが消えていることを確認し、デスクトップにある本製品のアイコン（ 、 、 のいずれか）をゴミ箱（ ）にドラッグアンドドロップします。

⚠注意 本製品に複数のパーティションを作成した場合は、すべてのパーティションのアイコンを、ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。



本製品のアイコンをドラッグすると、ゴミ箱のアイコンが に変わります。

2 本製品を取り外します。

以上で、本製品の取り外しは完了です。

Windows

接続方法によって、手順が異なります。

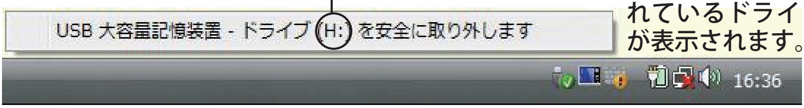
■ USB/FireWire400(IEEE1394) 接続の場合

⚠注意 **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。以下の説明では、Windows Vista の画面を使用しています。**
NTFS でフォーマットしたパーティションがある場合、以下の手順では取り外しできないことがあります。その場合は、パソコンの電源を OFF にしてから本製品を取り外してください。

1 タスクトレイのステータス表示領域に表示されているアイコン (Windows Vista) / （Windows XP） / （Windows 2000）をクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB 大容量記憶装置（デバイス） - ドライブ（X:）を安全に取り外します] または [BUFALO INC. HDD 1394 SBP2 Device - ドライブ (X:) を安全に取り外します] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。
お使いの OS によって、メッセージが少し異なります。



⚠注意 **TurboUSB を有効にしているときは、メニューに「TurboUSB」と表示されます。**

3 [安全に取り外すことができます。] と表示されたら、[OK] をクリックし、本製品を取り外します。

※ Windows XP の場合は、[OK] をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

■ eSATA 接続の場合

本製品を起動用ハードディスクとしてお使いの場合（Windows をインストールした場合）は、本製品を取り外さないでください。

本製品に OS をインストールした場合、本製品を取り外すとパソコンが起動しません。また、再度接続したときもパソコンが起動しない恐れがあります。

弊社製 eSATA インフェースのマニュアルを参照してください。

⚠注意 **パソコンの eSATA ポートを使って接続している場合、パソコンの電源を OFF にしてから本製品を取り外してください。パソコンの電源が ON のときは、本製品を取り外しできません。**

3 仕様

本製品の仕様を記載しています。

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

準拠規格		IEEE1394-1995, IEEE1394a-2000, IEEE1394b-2002 Serial ATA Specification Revision 1.5 USB Specification Rev2.0
最大転送速度（理論値）		800Mbps(IEEE1394b/FireWire800)、 400Mbps(IEEE1394/FireWire400)、 1.5Gbps(eSATA)、480Mbps(USB2.0)
セクタ容量		512Bytes
シークタイム		最大 11msec
出荷時フォーマット形式		FAT32
外形寸法		38(W) × 128(H) × 228(D)mm（突起物含まず）
消費電力		最大 25.5W
電源		AC100V、50/60Hz
動作環境	温度	5 ～ 35℃
	湿度	20 ～ 80%(結露なきこと)
対応機種		● FireWire400(IEEE1394)/USB ポート /eSATA ポートのいずれかを標準搭載する DOS/V 機 (OADG 仕様) ● FireWire800(IEEE1394b)/FireWire400(IEEE1394)/USB ポートのいずれかを標準搭載する Apple 製 Macintosh G4/G5 及び Intel 社製 CPU 搭載機 ●バッファロー製インターフェース（USB ポート /eSATA のいずれか）を搭載する DOS/V 機 (OADG 仕様)
対応 OS	Macintosh	Mac OS X 10.2.8 以降
	DOS/V 機	Windows Vista/XP（Media Center Edition を含む）/2000

メモ Windows をお使いの場合、本製品のドライバが正常にインストールされるとデバイスマネージャに以下のデバイスが追加されます。
デバイスマネージャは、次の方法で表示できます。

Windows Vista/XP............... [スタート] メニュー内の [コンピュータ (またはマイコンピュータ)] を右クリック→ [管理] をクリック→ [デバイスマネージャ] をクリック

Windows 2000..................... デスクトップの [マイコンピュータ] を右クリック→ [管理] をクリック→ [デバイスマネージャー] をクリック

接続方法	追加場所	追加デバイス名
USB	ディスク ドライブ	搭載ドライブ名 USB Device
	USB(Universal Serial Bus) コントローラ	Windows Vista： USB 大容量記憶装置（*） Windows XP/2000： USB 大容量記憶装置デバイス（*）
eSATA	ディスク ドライブ	搭載ドライブ名
FireWire800 (IEEE1394b)/ FireWire400 (IEEE1394)	ディスク ドライブ	BUFFALO INC. HDD IEEE 1394 SBP2 Device
	SBP2 IEEE 1394 デバイス	SBP2 準拠 IEEE1394 デバイス

* Turbo USB 機能を有効にしているときは、デバイス名に「(Turbo USB)」が追加されます。

HD-MIBSU2 シリーズ ユーザーズマニュアル
2008 年 3 月 5 日 初版発行
発行　　株式会社バッファロー